

R3年度補正予算 輸出物流構築緊急対策事業の取組事例について（1次公募）



（1）調査・実証事業

採択者名 (所在地)	採択者の概要	事業内容
株式会社 アライドコーポレーション (神奈川県横浜市)	CAコンテナ等を利用した日本産青果物の輸出・販売（タイ王国、シンガポール、マレーシア、香港、台湾、マカオ、ロサンゼルス、ハワイ）、日本産加工食品の輸出・販売等を営む事業者	・Super Cooling Premiumを搭載した40ftのリーファーコンテナに青果物を積載し、タイ王国、香港、シンガポールの3か国へ輸出し、現地輸入者が着荷時の品質確認及び冷蔵倉庫蔵置後の品質確認を行い効果検証を行うことにより輸出拡大を図る。
DENBA（デンバ） プラットフォーム構築 協議会 (東京都港区)	国内農林水産物をDENBA JAPAN（株）の鮮度維持冷蔵の技術や物流各拠点における環境情報収集の機械などを利用し、国内生産地より各流通業者にて分断されているデータのブロックチェーンを活用したトレーサビリティ情報のデータ連携を確立することにより、国内外物流の拡大を推進し発展させていくために設立した団体	・DENBAスマートコールドチェーンシステムの実験的開発及び国内輸送実証並びにDENBA鮮度保持コンテナを活用した輸出実証を行うことにより、輸出額の拡大、輸出品目数の拡大等を図る。
NAX JAPAN 株式会社 (ナックスジャパン) (東京都中央区)	国際航空貨物の輸出入業務を取り扱う事業者。早朝に主要な市場より集荷し、各空港に最速で配送することで、午前中に出発する航空機に搭載させるサービスを提供する事業者	・海外購入者と国内生産者をマッチングし、購入・決済・配送までを簡素かつスピーディーに行えるプラットフォームの開発・運営及びプラットフォーム内で取得したデータを活用することで、効率的な次世代の物流の仕組みを構築する。
株式会社新潟農商 (新潟県新潟市)	株式会社クボタの販売会社である株式会社新潟クボタの子会社として、米穀の小売卸業、特定米穀の集荷および販売、ならびに米輸出事業を実施する事業者	・モンゴル向け玄米輸出は、新潟東港から中国・青島港を經由し貨物列車にて輸送を行ってきたが、2021年に入り玄米輸送が停止している。現在は精米で受け入れ可能な天津港を利用して輸出しているが、ロシア経由の輸送ルートの調査と実証を行うことにより、モンゴル向け輸送ルートの確保と輸出拡大を図る。

R3年度補正予算 輸出物流構築緊急対策事業の取組事例について（1次公募）



（1）調査・実証事業

採択者名 (所在地)	採択者の概要	事業内容
株式会社O p e x (オベックス) (東京都大田区)	主に大田市場から生鮮野菜・果実を仕入れ、大規模小売店及び海外への販売事業、関東・関西全域で大規模小売店向け倉庫内物流業務の受託・運営事業等を営む事業者	・R2年度3次補正 補正輸出物流構築緊急対策事業における調査・実証結果、課題等を踏まえ、 ①流通チャネル別最適物流構築の調査・実証 ②大ロット輸出のための物流調査・実証 ③品質保持に適した包装梱包開発実証を行うことにより青果物の輸出拡大を図る。

（2）設備・機器リース導入事業

採択者名 (所在地)	採択者の概要	事業内容
株式会社O p e x (オベックス) (東京都大田区)	主に大田市場から生鮮野菜・果実を仕入れ、大規模小売店及び海外への販売事業、関東・関西全域で大規模小売店向け倉庫内物流業務の受託・運営事業等を営む事業者	・R4年1月に開場する新成田市場高機能物流棟へ入場するに当たり、コールドチェーンに対応する設備や自動化・省力化機器を導入し、輸出に対応した加工、包装・梱包業務の効率化に取組むとともに、R4年度にHACCP認証を取得して衛生・品質管理に対する顧客ニーズに対応して、青果物の輸出拡大を図る。

R3年度補正予算 輸出物流構築緊急対策事業の取組事例について（2次公募）



（1）調査・実証事業

採択者名 (所在地)	採択者の概要	事業内容
株式会社パン・パン フィック・インターナショナルホールディングス (東京都目黒区)	グループ会社株式保有によるグループ経営企画・管理、子会社の管理業務受託、不動産管理、海外事業当を行う事業者	・最適な輸送ルートの確立及び大ロット化・混載促進に向けた課題の抽出、解決方策の検討及び実現可能性の検証を行うことにより、農林水産物・食品の輸出促進を図る。 具体的には、 ①5県規制緩和による当該県の商品新規 船便輸出（台湾） ②日配品のエア便輸出（香港） ③玄米の新規船便輸出（台湾） ④新千歳空港からの温度帯別エア便輸出（シンガポール・香港） ⑤新千歳空港からのエア便活魚・活貝輸出（シンガポール/香港/タイ/マレーシア/マカオ/台湾） ⑥苫小牧港からの軟弱野菜 船便輸出（シンガポール） ⑦仙台国際空港からの温度帯別エア便輸出（シンガポール・香港） ⑧果菜類の船便輸送による適正環境調査（シンガポール・香港） ⑨成田新市場を活用した鮮魚品のエア便輸出（アメリカ） ⑩FDA新規登録商品の船便・エア便輸出（アメリカ・タイ）
一般財団法人北海道食品開発地興 (北海道函館市)	地域貢献、社会貢献を目指し、北海道の新鮮かつ安全な食材を活用した食品の開発および国内外への流通・営業活動を行う事業者	・国内の既存物流網を活用して、日本デリーネットの丘珠のセンターにいかにも商品を効率的に集約していく事ができるのかを調査する。 ・東北経済連合会と協力をして、東北の農産物や加工品、畜産品などを、日本デリーネットの物流とマッチング実証を実施する。 ・輸出先国ごとの商品裏面表記のルールとケースラベル等の出荷状況について調査と情報の集約をしていく。データベース化し、そちらを発行していくための体制整備と手順流れの整理を行う。

R3年度補正予算 輸出物流構築緊急対策事業の取組事例について（2次公募）



（1）調査・実証事業

採択者名 (所在地)	採択者の概要	事業内容
ヤマト運輸株式会社 (東京都中央区)	貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、自動車整備事業、倉庫業、荷造梱包業、航空運送事業、海上運送事業、港湾運送事業、通関業、航空運送代理店業を行う事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・青森、石川、鹿児島、広島地方空港で通関・検疫の実施、国際線 AWB の発券、国際線 AWB の集約を行った場合のコスト検証及びリードタイム検証 ・温度ロガーを使用した温度検証及び、航空保冷コンテナ・航空保冷シート・航空梱包パレットなどを使用した鮮度検証
株式会社LCCトレーディング (沖縄県那覇市)	シンガポール・ミャンマー・オーストラリア向けに日本酒、加工食品の輸出を行っている他、世界初の日本酒のデジタルプラットフォーム“酒オンタップ”及び、日本産品の輸出デジタルプラットフォームを運営している事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田港～シンガポール（釜山経由）間の冷蔵混載コンテナの定期便化 ・日本酒・米・加工食品の冷蔵コンテナによる混載輸出 ・シンガポール飲食店(10店舗)及びHISシンガポールでの庄内テロワールフェアの開催 ・クラウドサービス“フルード”を活用した電子インボイス・受発注・在庫管理・トレーサビリティ決済デジタル化・自動化 ・冷蔵コンテナの空きスペースを活用した国際クール宅配便サービスのモデル実証
ナチュラルフュージョン株式会社 (東京都新宿区)	青果物及びその加工品の販売、食品の輸出入及び販飲食店の経営、企画及び管理に関連する一切の業務を行う事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・RFID等を活用し、みかん等の3品目を対象にトレーサ情報、品質管理情報等をデータプラットフォームに記録 ・同時に温度等品質管理情報を記録し、輸出品と紐づけた形で情報を蓄積し閲覧できることを技術・運用の両面で検証し、事業化に向けた課題を抽出する。またトレーサ等にかかる必要機材や作業等コストを試算し、輸出品目の価格に転嫁可能かを小売事業者などへのヒアリングから評価

R3年度補正予算 輸出物流構築緊急対策事業の取組事例について（2次公募）



（2）設備・機器リース導入事業

採択者名 (所在地)	採択者の概要	事業内容
株式会社フラワー オークションジャパン (東京都大田区)	東京都中央卸売市場の一つである、大田市場花き部に入場している東京都中央卸売市場花き部卸売事業者	大田市場、羽田空港、東京港、横浜植物防疫所等のアクセスに優れたお台場に花きの輸出ハブ拠点を作るため、高度な鮮度管理を可能とする空調管理設備を導入する。
北海道エアポート株式会社 (北海道千歳市)	・道内7空港（新千歳、稚内、釧路、函館、旭川、帯広、女満別）の運営。 ・航空旅客および航空貨物の取扱施設、航空機給油施設その他の道内7空港の機能を確保するために必要な施設の設置、建設及び管理。等	輸出物流の構築を図るため、短時間でスムーズな荷役作業が行えるリファーコンテナを導入し、貨物の季節的な需要に合わせて冷蔵・冷凍機能の切り替を行うことにより、フォワーダーが集荷した生鮮食品等貨物の保管スペースの確保と品質管理及び衛生管理の高度化を図る。